

踏み跡 <My Mountains>

平成 25 年 3 月 4 日

埼玉県で一番低い山を求めて、先月「浅間山 (10m)」と「丸墓山 (36m)」を歩いて見た。その結果、もうひとつの低山「ポンポン山 (33.1m)」へも行って見たくなった。

懸案事項をメモしてあるノートに書き加えて、機を狙っていたところ、3 月 4 日突如思い立ったので、早い昼食を済ませて 12 時過ぎに自宅を出発。

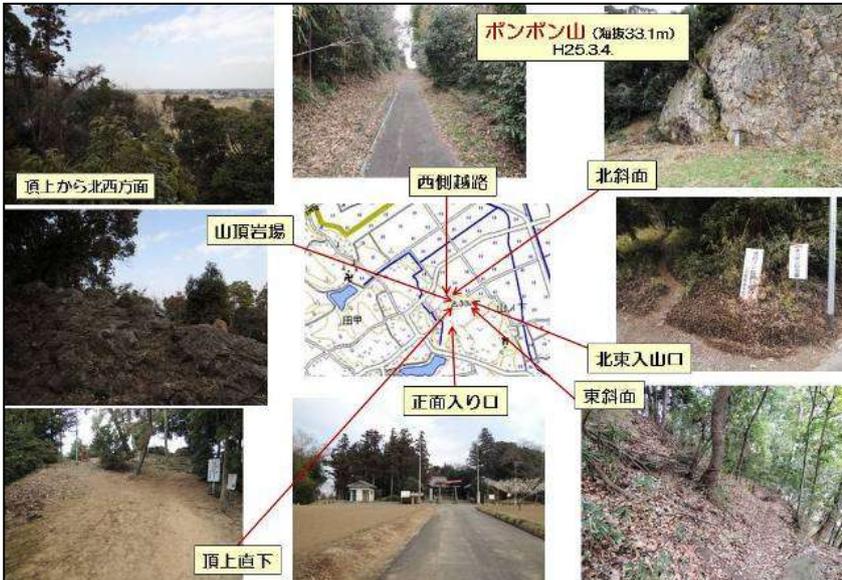
カーナビゲーションは、所要時間二時間半と示していた。千葉北 IC から入り、湾岸経由で竹橋から大泉へ、そして関越自動車道に入り東松山 IC へ。何とこの間どこも渋滞や混雑はなく、東松山 IC まででも二時間はかからずに着いてしまった。

カーナビゲーションの地図には「ポンポン山」など載っていないので、予め調べておいた目的地付近の詳細地図を手元に置いて注意深く走ると、「ポンポン山公園」の看板を発見。看板の矢印に従って進むとすぐに「ポンポン山公園無料駐車場」と書いた大きな看板が現れた。時計を見ると 14 時半になっていなかった。随分スムーズにここまで来てしまった。

駐車場に車を置いて、「←ポンポン山」の表示に従って行動開始。集落の小路に入ると広い畑地に突きあたり、否応なしに右に曲がると次の表示の先に赤い鳥居がある神社が見えた。

神社の名前は「高負彦根神社 (たかおひこぬじんじゃ)」。和銅三年 (710 年) 創建、祭神は味鋸高彦根尊 (あじすきたかひこねのみこと)・大己貴尊 (おおなむらのみこと) とされているが、素戔鳴尊 (すさのうのみこと) という説もあると書いてある。社殿後方の巨岩に近い地面を踏むとポンポンと音がすることからポンポン山の名が付いたとのこと。

まずは社殿に参拝の後山頂を目指すことにする。社殿を回り込むようにして裏側へ行くと緩やかな起伏が待ち構えていた。ゆっくりと歩を進めると、その足音が響く。その昔は、この山のすぐ下を荒川が流れていたとのことなので、おそらく岩山に空洞があるのだろうと思う。「ポンポン」を聞きながら進むと大きく立派な岩山になり、足元の木に不動明王が寄り掛かっていた。岩山を登りつめると頂上とおぼしき場所になった。



海拔 33.1m には勿体ないような立派な岩峰だ。どこまでも続く関東平野の広がり、北西方面に荒川を渡る鉄橋が見える。国土地理院の地形図によると頂上には三角点があるはずだが……。周辺をくまなく探し歩いたが、どこにも見当たらない。東斜面は樹林になっていて、巻き道が付いているので辿って見たら北東側に下山できた。北面を下から観察すると岩山であることがよくわかる。北西側の峠道のような石段で始まる坂道を登ったら、入口の鳥居の脇に戻ることができた。ついでに付近の里山や畑や集落を散歩して見た。立派な家が多いが、誰とも

すれ違わない静かな集落だった。

往路の感想からすると、関越自動車道経由では時間的には早いかもしれないが距離的に遠回りのような気が

踏 み 跡 <My Mountains>

する。帰り道は鴻巣へ出て国道 17 号線を走り新大宮バイパス経由で首都高速に入るルートを選んで見た。往路同様、月曜日の夕方にも関わらず大変スムーズに走ることができて、二時間半で帰宅することができた。距離はこちらの方がずっと短い感じがした。

「埼玉県で一番低い山を求めて」という旅のテーマは、これにて閉幕。さて次なるテーマは……？

以上